



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4601S		
科目名	ゼミナール I		
担当教員	中林 啓修		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火 3		
講義室	1314	単位区分	必
授業形態	演習・ゼミナール	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	総合学修		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1－E〔学識・専門技能〕 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 D P 3－G〔状況把握力・判断力〕 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 D P 6－K〔表現力・対話力〕 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 D P 7-L〔協働力・牽引力〕 集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を強めることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E 1 学識と専門技能（30%） G 1 状況把握（10%） K 1 ライティング・コミュニケーション（10%） K 2 オーラル・コミュニケーション（10%） L 1 チームワーク（30%） M 1 統合的・応用的学修（10%）		
教員の実務経験	担当教員は、独立系シンクタンクや、沖縄県庁などに勤務する中で、さまざまな研究調査の企画や資金獲得のための計画書作成などを行ってきた。本講義では、それらの経験を活かし、受講生が個人で研究調査を立案し、具体的な研究計画を作成できるよう指導していく（2-15回）		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	危機管理に関する専門的な研究活動を実践するために、必要な研究の手法を学び、学生自らが個人の研究テーマを設定し、研究論文を執筆するための指導を行う。具体的には、個人研究とグループワークを併用することで、研究の充実を図っていく。先行研究や事例の検討、妥当な研究手法の選択、結論の導出とその社会との関係性への検討などを通じ、学生自身が「問題発見→仮説構築→仮説検証」という一連のプロセスを実践することにより、実社会での問題発見・解決力やそれらの前提となる、自身の価値基準に対する認識の深化を図っていく。 授業は演習形式で行う。なお、授業を補完・代替するためにオンライン授業（ライブ配信型）を取り入れる場合がある。 ■キーワード：危機管理、非伝統的安全保障、政策デザイン、研究論文		
授業の趣旨	■副題 危機管理をめぐる政策デザイン ■授業の目的		

	危機管理に関する社会的課題の解決に向けて、適切な課題設定と解決法の選択あるいは考案ができるよう、妥当な検討手法を身につけることを目標とする。そのために、先行研究や事例の検討、妥当な研究手法の選択、結論の導出とその社会との関係性への検討などを行う。これにより、自身の問題意識に基づき、社会実装可能な課題解決方法を引き出す方法を身につけることを目的とする。この際、危機管理が公共的な課題であることに鑑み、政策的解決を重視するが、必ずしもこの点にとらわれることなく、受講生による柔軟な発想を尊重していく。 ■授業のポイント 本講義では、受講生の自主性・主体性を重視する。個人研究とグループワークを併用することで、研究の充実を図っていく。最低限「（公共的な）危機管理」に関するテーマについての研究であることを前提とするが、何をもって課題とし、どのような解決方法ないし状態（課題が解決された状態）を是とするのかなどは受講生自身の人格や価値観と密接に結びついているからである。本講義では、受講生が「危機管理」をキーワードとして、自身と向き合う契機となるような授業を展開していく。	
総合到達目標	グループ研究を通じ、個人では達成できないテーマや規模の研究を企画し、一定の成果を取りまとめるなど、グループでの調査研究を企画・運営できるようになる。 個人研究を通じ、学術研究において、適切にテーマや研究方法を設定した研究計画書を作成し、研究を実施できるようになる。	
成績評価方法	■以下の方法で総合的に評価します（（15回））。 （評価の観点） グループ研究に積極的に参加し、研究上の役割・分担を適切にこなすとともに、研究活動を通じて専門知識を高め、探究力や論理性を発揮しているかどうかをみます。 個人研究を着実に進め、自身の研究テーマを設定し、メッセージ性を持ってまとめることができているかどうかをみます。 （フィードバックの方法）演習の過程で随時コメントします。 ■（適用ルーブリック-割合） E 1 学識と専門技能（30%） G 1 状況把握（10%） K 1 ライティング・コミュニケーション（10%） K 2 オーラル・コミュニケーション（10%） L 1 チームワーク（30%） M 1 統一的・応用的学修（10%）	
履修条件	特にありませんが、自身の関心に合致する専門科目で未履修のものについては、計画的に履修するようにしてください。	
履修上の注意点	受講生の発意や創意を重視します。今現在、具体的なテーマを持っていなくても、何かを学びたい、という意欲を持って受講してください。その想いを後押しし、形にするための授業です。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス・自己紹介 ②授業概要 講義スケジュールの説明や授業構成、成績の考え方など授業のガイダンスを行う。あわせて、受講生の自己紹介を行う。 ③予習（60分）シラバスの全体をよく読み、自分が取り組んでみたいテーマや分野について考えておく。 ④復習（60分）講義資料を確認し、自分のテーマについての研究の進め方についてイメージしておく。自己紹介で他の人が話した内容も参考にすること。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
	2	①授業テーマ グループ研究のテーマ探索 ②授業概要 グループ研究（4-5名/グループ）のテーマ案を持ち寄り、グループ自体の編成および大まかなテーマを決定する。＜E1,G1,K1,K2,L1,M1＞ ③予習（120分）自分が、他の受講生と共同で取り組みたいテーマについて考えておく。 ④復習（120分） 所属することになったグループでの研究テーマについて自分なりに研究の進め方についてイメージしておく。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
	3	①授業テーマ 個人研究のテーマ探索(1) ②授業概要 2回ほどに分けて、受講生の個人研究テーマについて発表する。＜E1,G1,K1,K2,L1,M1＞ ③予習（120分）自分が取り組みたいテーマについて考えておく。 ④復習（120分） 発表した学生はフロアからのフィードバックを踏まえて研究テーマについての検討を深める。発表対象ではなかった学生は自身の発表に向けて、授業中の

	質疑などを振り返っておく。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
4	①授業テーマ 個人研究のテーマ探索(2) ②授業概要 2回ほどに分けて、受講生の個人研究テーマについて発表する。＜E1,G1,K1,K2,L1,M1＞ ③予習（120分）自分が取り組みたいテーマについて考えておく。 ④復習（120分） 発表した学生はフロアからのフィードバックを踏まえて研究テーマについての検討を深める。発表対象ではなかった学生は自身の発表に向けて、授業中の質疑などを振り返っておく。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
5	①授業テーマ グループ研究のテーマの決定と研究計画の作成 ②授業概要 グループ研究のテーマと研究計画（仮説および先行研究を踏まえた研究の位置付け、実証の方法）を決定する。＜E1,G1,K1,K2,L1,M1＞ ③予習（120分）グループ研究のテーマを確定させ、研究計画の発表準備をする。 ④復習（120分） 授業中の質疑応答を踏まえ、研究計画について必要な修正を行う。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
6	①授業テーマ 個人研究のテーマの決定と研究計画の作成(1) ②授業概要 個人研究のテーマと研究計画（仮説および先行研究を踏まえた研究の位置付け、実証の方法）を決定する。＜E1,G1,K1,K2,L1,M1＞ ③予習（120分）個人研究のテーマを確定させ、研究計画の発表準備をする。 ④復習（120分） 授業中の質疑応答を踏まえ、研究計画について必要な修正を行う。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
7	①授業テーマ 個人研究のテーマの決定と研究計画の作成(2) ②授業概要 個人研究のテーマと研究計画（仮説および先行研究を踏まえた研究の位置付け、実証の方法）を決定する。＜E1,G1,K1,K2,L1,M1＞ ③予習（120分）個人研究のテーマを確定させ、研究計画の発表準備をする。 ④復習（120分） 授業中の質疑応答を踏まえ、研究計画について必要な修正を行う。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
8	①授業テーマ グループ研究の中間報告(1) ②授業概要 2回程度に分けてグループ研究の進捗について報告する。＜E1,G1,K1,K2,L1,M1＞ ③予習（120分）グループ研究を推進し、進捗についての発表準備をする。 ④復習（120分） 授業中の質疑応答を踏まえ、ここまでの研究成果や、これ以降の研究計画について必要な修正を行う。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
9	①授業テーマ グループ研究の中間報告(2) ②授業概要 2回程度に分けてグループ研究の進捗について報告する。＜E1,G1,K1,K2,L1,M1＞ ③予習（120分）グループ研究を推進し、進捗についての発表準備をする。 ④復習（120分） 授業中の質疑応答を踏まえ、ここまでの研究成果や、これ以降の研究計画について必要な修正を行う。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
10	①授業テーマ 個人研究の中間報告(1) ②授業概要 2回程度に分けて受講生の個人研究の進捗について報告する。＜E1,G1,K1,K2,L1,M1＞ ③予習（120分）個人研究を推進し、進捗についての発表準備をする。 ④復習（120分） 授業中の質疑応答を踏まえ、ここまでの研究成果や、これ以降の研究計画について必要な修正を行う。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
11	①授業テーマ 個人研究の中間報告(2) ②授業概要 2回程度に分けて受講生の個人研究の進捗について報告する。＜E1,G1,K1,K2,L1,M1＞ ③予習（120分）個人研究を推進し、進捗についての発表準備をする。 ④復習（120分） 授業中の質疑応答を踏まえ、ここまでの研究成果や、これ以降の研究計画について必要な修正を行う。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
12	①授業テーマ グループ研究の成果報告(1) ②授業概要 2回程度に分けてグループ研究の該当学期の研究成果について報告する。＜E1,G1,K1,K2,L1,M1＞ ③予習（120分）グループ研究を推進し、学期中に達成すべき研究成果をとりまとめて発表準備をする。

		④復習（120分） 授業中の質疑応答を踏まえ、取りまとめた研究成果について必要な修正を行う。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
	13	①授業テーマ グループ研究の成果報告(2) ②授業概要 2回程度に分けてグループ研究の該当学期の研究成果について報告する。＜E1,G1,K1,K2,L1,M1＞ ③予習（120分）グループ研究を推進し、学期中に達成すべき研究成果を取りまとめて発表準備をする。 ④復習（120分） 授業中の質疑応答を踏まえ、取りまとめた研究成果について必要な修正を行う。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
	14	①授業テーマ 個人研究の成果報告(1) ②授業概要 2回程度に分けて個人研究の該当学期の研究成果について報告する。＜E1,G1,K1,K2,L1,M1＞ ③予習（120分）個人研究を推進し、学期中に達成すべき研究成果を取りまとめて発表準備をする。 ④復習（120分） 授業中の質疑応答を踏まえ、取りまとめた研究成果について必要な修正を行う。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
	15	①授業テーマ 個人研究の成果報告(2) ②授業概要 2回程度に分けて個人研究の該当学期の研究成果について報告する。＜E1,G1,K1,K2,L1,M1＞ ③予習（120分）個人研究を推進し、学期中に達成すべき研究成果を取りまとめて発表準備をする。 ④復習（120分） 授業中の質疑応答を踏まえ、取りまとめた研究成果について必要な修正を行う。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
関連科目	RMGT2601S基礎ゼミ、RMGT4602SゼミナールⅡ、RMGT4603SゼミナールⅢ、RMGT4604SゼミナールⅣ、RMGT4605SゼミナールⅤ	
教科書	特に用いない。グループや各自の研究発表の機会などに必要と思われる文献などを指定する。	
参考書・参考URL	特に指定しない。グループや各自の研究発表の機会などに必要と思われる文献などを指定する。	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先：開講時に告知する ■オフィスアワー：開講時に告知する	
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント30%；パブリックセキュリティ30%；グローバルセキュリティ30%；情報セキュリティ10% ■危機管理と法学とのバランス 危機管理学70%：法学30%	

